

「ほっ」として、「ずっしり」と

横浜市グループホーム連絡会
会長 室津 滋樹

平成五年年度の横浜市の予算案が発表されました。「障害が軽い人も重い人も地域で安心して暮らせるようにグループホーム制度の充実を」と訴え続けてきた私たちにあって、五年度こそはという期待と、五年度も補助金があがらなかったらどうしようという不安とがいりまじりながらまちわびていた予算案です。

それによると重度障害者の入居に対する運営費助成制度が創設され、重度障害者一人につき、月額七万三千円の運営費補助が、十二万八千円になります。ホームによって「重度」障害者の人数も異なるので、いろいろですが、「重度」障害者が多く入居しているホームでは職員二名体制も可能となってきました。六年間グループホーム連絡会として訴え続けてきた事がようやく実現したので、そしてこれにより八年間続けてきた試行事業も終了し、本格的な制度として実施されることと思います。

他にも、障害者地域作業所への助成の大幅アップをはじめ、ホームヘルパーも夜間(午後八時まで) 祝祭日の派遣、派遣上限時間数の増加(週十八時間から二十四時間へ)、住宅改造への補助については、四〇万円から一五〇万円にアップするなど、障害者が地域で生きるために欠かせない介助と住宅への助成制度が大きく充実し

ています。

いよいよ横浜市が言葉だけでなく本気で地域福祉の時代へ転換したと受け止めていいのではないのでしょうか。景気後退、五年度は厳しい年と市の担当者たちからも何回も聞かされてきましたが、その時期に「福祉は後退させない」という横浜市の決意が感じられ、金額以上に大きな一歩と評価しています。

県もグループホームのあり方について五年度検討会を設置、補助金の問題だけでは解決できない運営上の問題や他制度との連携など更に進んだ検討が期待されます。

これらの市と県の動きは、グループホームへの理解が大きく広がった事の表われではないでしょうか。昨年は障害者自身の声や期待が多くの人たちを動かし、グループホームの充実のためにさまざまご支援を頂きました。それだけに障害者が安心して暮らせるグループホームにしていくために重大な責任を痛感しています。

制度の不備を言い訳にはならない(もちろん不備は不備と指摘しなければならぬ)と肝に銘じて、運営の充実、安定に取り組んでいこうと思います。

運営のあり方についても考えなければならぬし、運営主体がどうあるべきかも大きな課題だし、これから増えていくグループホームの質を低下させてはならないし、グループホームから更にもう一歩進んで、もっと多様な暮らし方も試みていかなければならないし……。ああ、補助金があがっても楽にはならないものだなあ。

速報

待ちに待った大きな一歩!!

―重度障害者運営基本費が新設される―

この二月八日、横浜市の平成五年度予算案が発表されました。詳細はまだ明らかではありませんが、予算案の内容は横浜市が地域福祉に大きな一歩を踏み出そうとしていることを示してくれそうです。

グループホーム関連では、運営基本費が一人あたり七万八千円(昨年の五万円増)、さらに重度障害者に対する運営基本費(一人あたり十二万八千円)が新設されました。ようやく重度障害者も

地域で暮らすことが位置づけられたのです。

他に障害者地域作業所の運営費も昨年に続いて大幅に増額。ホームヘルパーの時間延長(午後八時まで。一人最高週二十四時間)。住宅改造費の大幅増額。駅のエレベーター設置促進等。障害者、高齢者が地域で暮らすための条件整備は大きく前進しました。

強い答弁を得ました。更に公営住宅の利用についても北海道の例などを細部にわたって説明、高齢者のグループホーム等とあわせて検討していくとのこと。今後大いに期待できそうです。

この質問に先立って、グループホーム連絡会と作業所連絡会は各政党の議員の方々と懇談会を実施。ビデオなどでグループホームや作業所の現状を説明し、グループホームや作業所が抱える問題について話し合いました。この懇談会を通じて多くの議員の方々に現状を知っていただく事ができ、その後、さまざまな形で各政党からご支援いただきました。

十二月十六日横浜市議会で一般質問が行われました。一般質問とは、市長に市政全般について疑問な点や方針などをきくもので、この日は八人の議員が質問。市政についてさまざまな質問がなされましたが、小林達夫議員(社会党、緑区)と松本久美子議員(ネットワーク横浜、港北区)がグループホームについて質問しました。

横浜市の制度の特徴、現状の問題点に関する考え方を市長に質問。設置場所の確保のための市営住宅の利用、痴呆症状を持つ高齢者のためのグループホーム

者地域で暮らす一つの方法として大きな役割を果たすもの」とグループホームの位置付けをのべました。また、横浜市の特徴としては、精神薄弱者だけでなく

身体障害者も入居の対象にして、就労を条件にしていない事をあげ、まだ課題は多いが、安心して暮らし、安定した生活ができる場となるよう努力したいとの力

安心して暮らせるグループホームに 十二月市議会で一般質問

両議員は横浜市が国に先駆けグループホーム制度をスタートさせてきた事を高く評価した上で、横浜市のグループホームの考え方を

についても質問がなされました。高橋市長は「障害をもつ人もたない人も、まちの中で普通に暮らす」というノーマライゼーションの考え方が広まる中で、「障害

について、精神薄弱者だけでなく、身体障害者も入居の対象にして、就労を条件にしていない事をあげ、まだ課題は多いが、安心して暮らし、安定した生活ができる場となるよう努力したいとの力

- (公明党) 後藤洋一
- (民社党) 森 敏明
- (日本共産党) 高野明子
- (ネットワーク横浜) 松本久美子、蟹沢道子
- 丹野貞子、中島憲五



しょうがいしゃ ひ 障害者の日、みんなでもりあがってしょうがいしゃの明日を考える集い

去る12月9日、横浜公園にて障害者の明日を考える集会が開かれました。この集会は作業所連絡会、活動ホーム連絡会、グループホーム連絡会が協力して行われました。今年も多くの作業所、グループホーム、活動ホームが参加し、1,200名の人たちで横浜公園はいっぱいになりました。

しょうがいしゃ あす かんが つど 今年には参加者も楽しみながら、横浜市や市議会そして一般の人々に障害者が地域で生きるための施策の充実、作業所・グループホーム・活動ホームの制度強化を訴えようと、バンド演奏、ダンス、寸劇などを企画し、楽しい集会になりました。この集会を支える皆のエネルギーは、私たちの財産だなぁと感じた一日でした。

しょうがいがいしゅべつ 障害種別をこえてシンポ

グループホーム、今日から明日へ 開催

去る十月十一日、県社会福祉会館ホールで横浜市グループホーム連絡会、横浜市精神薄弱関係施設連絡会、横浜市精神障害者作業所連絡協議会、横浜市在宅障害者援護協会の共催で、グループホームのシンポジウムを開催。この集会の特色は、障害の種別をこえてグループホームというテーマの下に皆が集まったことでした。当日、会場には六百人をこえる人々が集まりました。場内の熱気にあらためてグループホームへの関心の高まりが感じられました。まず入居者のみなさんから生活の紹介。やまゆりの池田さん、カンガルーの家の西さん、虹のみなさんがグループホームの様子を話して下さいました。

続いてシンポジストの方々からの発言。大熊さんからは朝日新聞論説委員として世界各国をまわったの感想をまじえながら、スライドを使ってグループホームの紹介。朋の日浦さんからは重い障害をもった人たちが地域で生活できるようにしていくことの重要性。やすらぎの園の志賀さんからは施設は一生を過ごす場であってはならない、施設から地域へという流れが必要との提起。保健所のワーカーの田中さんからは精神障害をもった人たちが病院から地域へ出ていく具体的事例が話されました。このあと場内からの質疑応答。「グループホームは不安」という親と「施設はイヤ」という障害者と本音のぶつかりあう場面もあって、障害をこえた集まりでなければ得られない余韻を残した集会でした。「一回で終わらせないでほしい。」との参加者の要望も強く、小規模な集まりがあちこちで活発に展開されることを願っています。

お金をためて旅行に行きたい
とりあつて5万円
できかね...
友の家・森下

結婚がしたい
友の家・本多

水上スキー
友の家・本多

パソコンゲームのプログラムをつくりたいなあ
友の家・本多

熱気球に乗りたい!
友の家・本多

ミニスカートをはいた女の子と山下公園でデートしたい
友の家・本多

将来、手話通訳士になるようにがんばりたい。
友の家・本多

アパートをかりてひとりぐらしがしたい
友の家・本多

自立したい。まず健康が
友の家・本多

今年こそ彼女をみつけれたい。
友の家・本多

陶芸がうまくなりたい。
温泉でのんびりしたい。
いろいろなサークルに出たい。
いろいろな人とつきあいたい。
友の家・本多

いろいろなところへ行って写真をとりたいたい!
友の家・本多

髪を長くのびせてみおみにしてアイドルのようになりたい
友の家・本多

みんなといっしょに泊りの旅行がしたい
友の家・本多

ひとりぐらしがしたい
友の家・本多

ジャンボ散歩、ボールプール、スケート
友の家・本多

うた、あみもの、カメラをきく
友の家・本多

ハイキングにいきたい
友の家・本多

下宿屋、小林
友の家・本多

あなたのゆめは?

インタビュー・西岡直子



としちゃんと同じ料理の音楽をきく。
お料理をつくる。
友の家・本多

若い人にまじって気持ちよく明るく。
友の家・本多

野球チームをつくりたい
友の家・本多

歌手になりたい
デザイナーになりたい
友の家・本多

ジャズと映画
友の家・本多

ひとりていしにいけるようになる!
友の家・本多

アマトの曲をオーケストラの時演奏で生演奏で
友の家・本多

今度オムレツをつくりたい
友の家・本多

ことしもデモ行進がしたい!
友の家・本多

金道で山へあそびにいきたい
友の家・本多

散歩、バスケットボール、おぶりのプール
友の家・本多

パソコンをマスターしたい
友の家・本多

ニュース、おんせん、おぶる
友の家・本多

みんなといっしょにどこかにいきたい
友の家・本多

恋人をさがしたい
友の家・本多

早くグループホームに
友の家・本多

お肉を食べたい
友の家・本多

アメリカへ行ってアメリカのグループホームをみてみたい。
友の家・本多

妹とどこかへ行きたい
友の家・本多

早くグループホームを出て、早く結婚したい!
友の家・本多

今年はお入りたい!
友の家・本多

はやくこゝろを自分で家と
友の家・本多

夢? とくにない。
お料理がとくい
友の家・本多

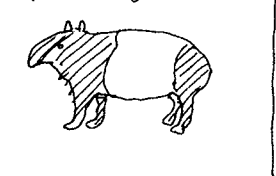
身体をなおして仕事ができるようにがんばる!
友の家・本多

あみもの・料理、男性入居者が病気になるたらお料理つくってあげる!
友の家・本多



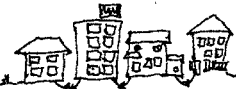


カラオケ、マラソン、映画
友の家・本多




わかる者とたいじする!
友の家・本多

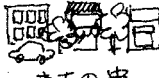








いろいろなところへ行って、たくさんの人と友達になりたい。
友の家・本多

協力会員 になって下さい! —横浜市グループホーム連絡会—




 の  は、創刊以来  から **大**きな反響
グループホーム 機関紙「まちの中」 みなさま




をいただき、 への関心の  高さ に 私たちも  います。
グループホーム 高さ おどろいて


 にくらしている  の姿や声を  し、 が共に生きる
まちの中 障害者 おどけ 障害者



この意味を  におわかり いただきたく、これからも  やすく  **たのしい**
多くのママ わかり キャハハハ


 をつくりたいと思っておりますが、 は大変 ↓ 団体です。
「まちの中」 グループホーム連絡会 小さな

年 ^{内?} の  を発行  だけの  もありません。
回数 機関紙 つづける 財政基盤

そこでこのたび  会員を募って、 のご支援を  してみようと
協力 多くのママ おねがい

思いたちました。お **志** のある方は ↓ の申し込み書をお  下さい。
ご連絡 して 送り

会費は **1**年間で **1**口  です。  会員になっていただいた方に
2000円 協力

は  を発送させていただきます。
機関紙

送り先・横浜市グループホーム連絡会事務局
 〒231 横浜市中区本牧満坂10
 本牧生活の家内 TEL.045-623-5318

----- き り と り せ ん -----

申 込 書 年 月 日

協力会員として 申し込みます。

会費 () 口 _____ 円

住所

氏名

TEL.

シリーズ

「まちの中で」

—まちの人たちとのページ—



<インタビュー>

▼生活の家の人たちが通う地域作業所・本牧ダック。その向かいにある美容院

「メイ・フライ」の店長さんにインタビューしました。



Q. 地域作業所・本牧ダックに通ってくる障害者たちについて……

A. いいんじゃないかなあ。昔はあまり障害者って外に出てなかったでしょ。

Q. 障害者たちが散髪に来て困ったりしたことは？

A. 正直いって最初はびっくりしたよ。何を話したらいいのか、どうしたらいいのかわからなかったし。特別扱いするのもおかしいしね。でも何回か会っているうちに、言っていることがわかってきたし、普通に話をすればいいんだよね。終わったあとにニコリしてくれるとうれしいしね。とし子さん[※]のOKサインもわかるから「今日はどの位切りますか？」なんて話をしながらやってるんですよ。他のお客さん達にも「この近くの作業所で活動されている人なんですよ」って紹介したりして……。こういう場所で障害者の方たちのことを知ってもらえるのもいいですよ。※(としさんは言葉ではなく、身振り手振りで意志を伝える人。)

Q. 頭が動いてあぶないからと他の床屋で断られた人達もこちらでは気持ちよくやっていただいていますね。

A. 「動くな」って言ったって動いちゃうんだから仕方ないよ。動かないように工夫してカットしてあげればいいじゃない……。

Q. こちらを利用して障害者たちはグループホームに住んでいるんですが……。

A. 知ってますよ。根岸の不動産下でしょ。毎朝車で前を通ってるんです。 入り口はどこだ？ っていう看板がついている所でしょ。ちょうど時間が一緒だから「電動車いすの人いるな！」なんて思いながらね。

<ひとこと>

▼ふれあい生活の家の階上にある一般住居のあっせんや、グループホームの家のあっせんをして下さっている不動産屋さんとしてご苦労話など——小川不動産のご主人

「今日の会」の“下宿屋”の家さがしがしれたときのことでありますが、できるだけことはさせていたがこうと思い、いろいろ物件をあたりましたが、貸主さんの了解が得られず、思いあまって私共の前使用していたところを改造し使用していただくかと思っておりましたが、まるで伝染病患者の集団がくるように“きもち悪い”とか“きたない”とか“この辺の地価がさがる”とか、まわりの人よりもうれつに反対されてしまいました。たまたま若くて仕事が外国とのかかわりのある方で、ボランティアはあたり前との考え方にしよっ中ふれている方が快く貸して下さることになりほっといたしました。これからはボランティアについても国際人として恥ずかしくないように子どもの時から教育すべきだと思いますネ。

★ 協力会員 募集 ★

まちの中でくらしている障害者の姿や声をお届けする機関紙「まちの中で」を発行しつづけるためにご支援をお願いいたします。

会費(年) 1口 2000円

★協力会員になっていただいた方には機関紙をお送りいたします。

お問い合わせ ■ 横浜市グループホーム連絡会
(本牧生活の家 ☎ 045-623-5318) ★

基金づくりにご協力を!

グループホーム運営支援基金のためにみなさまのお手元でねらっている未使用のテレホンカード、オレンジカード、ビール券、商品券などのご寄付をお願いします。

送り先 ■ 横浜市グループホーム連絡会事務局
〒231 横浜市中区本牧満坂10
本牧生活の家 ☎ 045-623-5318

横浜市 A型 グループホームの新しい仲間です。

○グループホーム ^{いまじん} _{今人}
知的障害者5人の家
(神奈川區)

○グループホーム 下宿屋
脱性マヒの人たち4人の家
(磯子區)

どうぞ よろしく!

ほ・しゅ・う

せまわり

アルバイト又はボランティア
・男女問わず
・毎月1回土曜日

問い合わせ 045-761-2187
(三世田)

生活の家

男女職員・ボランティア
・入浴・食事等の介助
問い合わせ 045-623-5318
(本牧生活の家)

お・し・ら・せ

☆ グループホームの紹介ビデオ

「^{あした} ^の ^{まち} ^で ^の ^ま ^を ^い ^き ^た ^い ^い」
—グループホームのくらし—

を貸し出しますのでご利用下さい。

お問い合わせ・045-471-0556
(荏原協)

☆ 友の家 バザー

とき・4月25日(日)
10時～

ところ・富岡連合町内会館
(友の家)

お問い合わせ・045-974-9242

ありがとうございます (敬称略、順不同)

【寄付金】 南馨、安藤奈穂子、滝沢久美子

【テレホンカード】 岩屋文夫、大沢隆、岩崎晴子、小幡和男、木元幸子、

鈴木フミ子、高久教男、杉原悦子、林純子、石井博子、平野章、加藤崇久、

市原かね子、堀井遥子、桑原玲子、新井喜之、小川孟、奥本民代、

西岡貞子、間宮孝治、松田鉄蔵、大高智子、水越玲子、二神徳子、林純子、

花田美穂、茂木寿子、大友絢子。

編集後記

▶ 待ちに待った横浜市からのうれしい回答をニュースにできてほっとしています。入居者みんなの真剣に生きる姿、各ホームのけんめいな取り組みがようやく認められたのです。これから心ゆたかな地域づくりをリードしていきましょう!

▶ 西岡編集委員(本牧生活の家入居者)が「ゆめ」取材のため10ヶ所のグループホームを短期間に全部訪問してくれました。ごろうさま。その感想については次号をおたのしみに。

発行人 神奈川県身体障害者団体定期刊行物協会
横浜市港北区鳥山町1752
横浜ラポール3F
編集人 横浜市グループホーム連絡会
横浜市中区本牧満坂10本牧生活の家内
TEL 045(623)5318
FAX 045(623)5319
編集責任者 室津 滋樹
定 価 100円